

女性会連盟ニュース

ひびき

発行：日本福音ルーテル教会女性会連盟

発行者：鈴木直子

第22期主題「キリストが望んでおられる」～喜び・祈り・感謝～

主題聖句：テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5章16節—18節

今、ここに立つ

立春が過ぎても寒い日が続いていました。震災後やむなく仮設に生活される方々にとって、この寒さの厳しさはいかばかりだったかと思うと、一日も早く復興が進むことを願う毎日です。

連盟22期は4名の役員から始まり、昨年には役員交代と落ち着かない日々が続いておりました。この間教区役員そして協力委員の皆さまの力をたくさんお借りしました。また全国の連盟会員の皆さまのお祈りとお励ましによってここまで来ることができました。深く感謝申し上げます。すでに来年の総大会の話し合いが始まっており、この3年間もあっという間に過ぎてしまうような、やり残しがないようにと祈る日々が続いております。真剣に討議し笑い声が響く役員会。連盟担当の本教会白川事務局長も時間の許す限り役員会に出席してくださり、その時に適ったアドバイスをしてくださることも感謝しております。

さて昨年発足しました4つの小委員会はそれぞれの教区で話し合いがもたれ、春には教区集会で会員の皆さまの意見を聞くという手順で進んでおります。5月には連盟役員会に話し合いの結果を報告、6月役員会でそれらを検討する段取りになっております。来年の総会に向けて協議事項等の立案に責任の重さを感じております。

6月には来年の総大会現地実行委員会が発足する予定です。全国の女性会員が3年に1度顔を合わせ、時間を共有する時です。来てよかった！また3年後会いましょう！と思っただけのような豊かな大会にしたいと思っております。また総会では、連盟規約第2条に謳っております「本連盟は、「婦人会」・「女性会」相互の理解を深め、教会に協力して、福音の宣教に努力することを目的とする」にあるように、信徒運動のひとつとしてこれからのルーテル教会の宣教の助けになるよう、より多くの意見と協議の場にしたいと思っております。

どのような困難な時にあっても神様は良い道を示してくださると確信しております。どうぞ今後とも連盟のためにお祈りとお励ましとご協力をよろしくお願いいたします。

22期連盟書記 野村加寿子

今後の予定

- 2月 会員数・会報数調査 常議員会陪席(19-21)
- 3月 ルーテル学院大学卒業式(7) 世界祈祷日(7) ひびき40号発行
- 4月 ルーテル学院大学入学式(1) 会報148号発行(15)
- 5月 前期会費納入期限(31)
- 6月 常議員会陪席(9-11) 第7回役員会(18-20) 総大会現地実行委員会発足